

海外展開のススメ

海外事情編

香港バイヤーに聞く市場動向

国際センター
とっとなり
ビジネス

ことしの冬は、米子鬼太郎空港から定期便も就航していた香港。身近に感じられた皆さんも多いかと思えます。とっとなり国際ビジネスセンターが海外進出に向けた様々な情報を提供するこのコーナー。今回は、香港のバイヤーに香港の市場について話を伺いました。

「香港は多くの日本産食品を輸入し続けています。その要因はどこにあるでしょうか。」

「香港が日本の食品を輸入しているのは、香港の規制・関税の障

「香港に食品輸出をする際に注意することはありますか。」

壁が低いという理由があります。そして日本の知名度の高さでしょう。例えば『W a g y u (和牛)』がメニューに入っていると、その料理は価値が高く、特別感があることを意味しています」

「色素、保存料などの添加物が輸入する際に引っかけやすく、原材料の情報を事前に確認しておくことが大切です。また香港では、消費者委員会が商品を購入し、テストした結果を公開しているので、店頭に並ぶまで常に品質を保っておく必要があります」

「日本の中小企業に香港市場でのビジネスチャンスはありますか。」

「香港にないもの、珍しいものにビジネスチャンスがあります。日本で捨てられていたSSサイズのサツマイモが香港で人気になったこともありました。香港の食品市場は参入しやすい反面、全世界の商品と競争することになるため、特徴のある商品が求められます」

「インタビュを終えて鳥取からも手焼きせんべいや牛骨ラーメンなどの商品が売れていると伺いました。全世界から商



香港小売店「九號水産」での鳥取県物産展売場

品が集まる香港市場では、原材料、見積、納期など、問い合わせに素早く対応していくことが大事だそうです。こまめに連絡しなければ、商品自体が忘れ去られてしまう巨大市場ということでしょう。